

巻頭言



富山県知事 新田 八朗

外国人住民を含めた全ての県民の皆様の「ウェルビーイング」向上を目指して

2022年1月1日現在の富山県在住の外国人は、91カ国・地域の17,961人となっており、中長期的にみれば、外国人住民数は今後も増加するとともに、滞在の長期化、定住化が進むことが考えられます。

こうしたなか、外国人住民を含めた全ての県民の皆様が、互いの文化の違いや価値観を尊重し、共に安心して暮らせる地域づくりがますます重要となっています。

さらに、ビヨンドコロナを見据え、県民や民間団体等が積極的に国際交流・協力活動に参加できる仕組みや、世界で活躍できる人材の育成に取り組んでいくことも求められています。

本県では、外国人住民の増加や新たな在留資格の創設等を踏まえ、2019年9月に「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」を策定しました。人口減少、少子高齢化が進展するなか、多様な文化や習慣、価値観を持つ外国人を、地域社会の一員として受け入れ、ダイバーシティの観点からの「多文化共生社会」の実現を目指しています。特に環日本海・アジア地域の成長エネルギーを本県の発展につなげていくため、アセアン地域及びインド留学生の受け入れを積極的に行うとともに、県内企業への定着を促進しています。

また、幅広い世代の県民の皆様が国際社会に貢献する人材としてグローバルに活躍できるよう、JICA海外協力隊の支援や学齢期からの国際理解教育・国際交流を促進するほか、今年度は、アメリカ合衆国のオレゴン州及びブラジル連邦共和国のサンパウロ州など、友好提携先等との人的・経済的な交流を推進していくとともに、グローバルに活躍する人材の積極的な受け入れ、育成といった人づくりに取り組んでいきます。

今後とも、県民、市町村、NPO法人をはじめとする関係団体等と「ワンチーム」となって、外国人住民を含めた全ての県民の皆様のウェルビーイング（真の幸せ）の向上に努めてまいります。

そして、一人ひとりが、暮らしのなかの真の幸せを実感し、誇りと愛着を持つことができる富山県、また、そういう富山県に引き寄せられて、多様な人材が集積する「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山」の実現を目指してまいります。